



### 株式会社岩崎

■本社所在地：札幌市中央区北4条東2丁目1番地

■資本金：299,990,000円

■創立：1947年12月12日

■社員数：176名（2016年4月現在）

■事業概要：IT関連、建設・測量システム、測量機器。測量機、計測器、気象・観測機器などの取り付け、保守、メンテナンス、測量機、計測器、気象・観測機器などのレンタル。



最新のICT関連機器・測量機器・計測器を販売する技術商社として、ハードウェアはもちろん、システム開発・運用サービス、アフターフォローなど、ITライフサイクル全体をワンストップでサポート。北海道を中心に、ICTと3次元データを活用した土木・農業分野をはじめ、建設業、官公庁などの幅広い顧客にサービスを提供している。

## 「SKYSEA Client Viewと連携し、資産管理の一環として包括的に不正接続対策に取り組めるシンプルさ。それが、IntraGuardian2+の魅力です」



ICT関連機器・測量機器・計測器を販売する技術商社、株式会社岩崎（以下、岩崎）ではIntraGuardian2+を導入。SKYSEA Client Viewと連携して、不正接続の自動検知・遮断を実現している。IntraGuardian2+を導入した経緯やねらいについて、岩崎の三浦文義氏に詳しく伺いました。

### 利用状況 国内17カ所の拠点すべてにIntraGuardian2+を導入予定

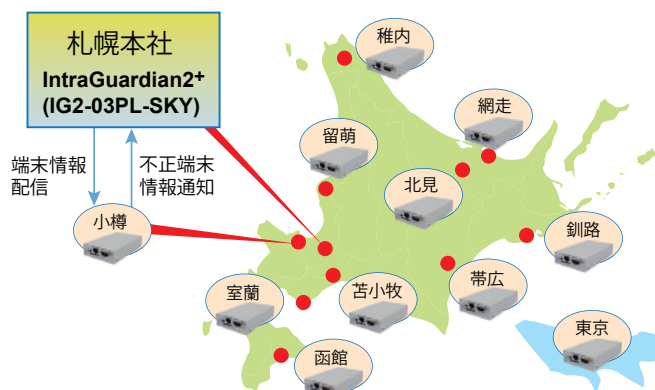
— IntraGuardian2+の利用状況について教えてください。

社内ネットワークの不正接続対策としてIntraGuardian2+を導入しています。未許可デバイスがネットワークに接続された場合、自動的にネットワーク管理者に通知するとともに、接続を遮断するようにしています。

国内17カ所の拠点すべてに各1台ずつを導入する予定で、数カ所を除き導



株式会社岩崎  
技術部 ネットワーク支援課  
部長代理 三浦 文義氏



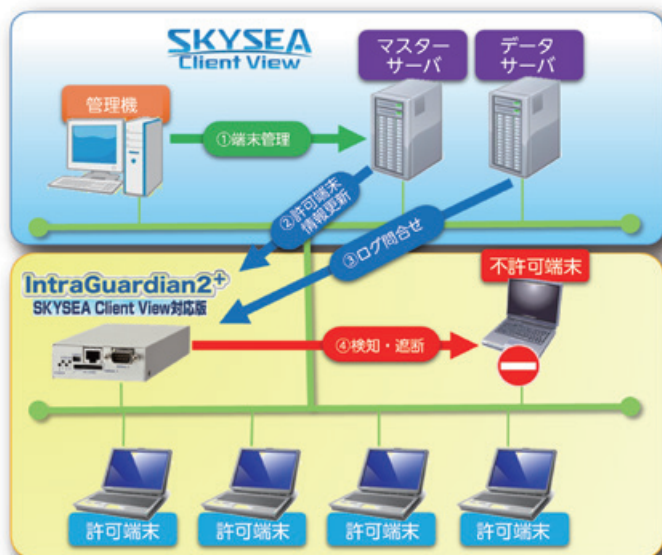
IntraGuardian2+ ■導入イメージ

入済みです。

Sky株式会社のクライアント運用管理ソフトウェア「SKYSEA Client View」と連携して運用しており、設定や通知などはSKYSEA Client Viewの機能として利用しています。

— 社内で管理している端末の台数を教えてください。

社員数は約180名となりますが、複数のPCやスマートデバイスを使用している社員もいるので、端末の台数は全拠点トータルで約250台となります。



■システム構成イメージ

## 導入背景 IntraGuardian2+が不正接続対策検討のきっかけに

— 不正接続対策を実施した経緯を教えてください。

今回、不正接続対策を実施したのは、未許可のデバイスが持ち込まれるケースが多発しているのを防ぐという後ろ向きの対応ではありません。インストールや修理のためにお客様の端末を社内に持ち込むということがあります、そのような端末や個人所有のデバイスを社内のネットワークに接続することは認めていません。実際に、不正接続によるインシデントが発生したこともありません。

そのような状況下、不正接続対策を軽視していたわけではありませんが、セキュリティ対策にはこれで終わりという上限がなく、その一方、投資できる予算やリソースは限られています。そのため、どのセキュリティソリューションにおいてもコストパフォーマンスの見極めが難しく、その点では、低コストかつ導入・運用に手間のかからないIntraGuardian2+の存在自体が、不正接続対策の導入を検討する大きなモチベーションとなったことは間違いありません。

また、当社では現在、SKYSEA Client Viewを利用してIT関連の資産を管理していたことから、連携して包括的に不正接続対策を管理できるということも後押しとなりました。

## 選定理由 コストや導入・運用負荷が軽く、国産製品であるIntraGuardian2+を選択

— IntraGuardian2+を評価したポイントについて詳しく教えてください。

従来の不正接続対策ソリューションは比較的大企業向けに開発されたものが多く、導入や運用に手間やコストがかかりました。ネットワークなどの構成にもよりますが、特に当社のように拠点数の多い場合は負担が大きくなります。そのような旧来のソリューションと比べ、IntraGuardian2+の次のようなポイントの評価して導入を決めました。

### 【選定理由 1】 導入コストの負担が軽い

IntraGuardian2+は専用アプライアンスを導入するだけで、複雑なシステムの構築や設定は不要です。アプライアンスも比較的安価なので、導入コストを抑えられるというのは大きな評価ポイントでした。

### 【選定理由 2】 ネットワーク構成の変更が不要

既存のネットワークの構成や機器の設定を変更する必要がなく、導入時の負担がかからないという点も魅力でした。

### 【選定理由 3】 保守メンテナンスが不要

手間のかかる保守メンテナンスも不要で、ハードウェアにトラブルが発生した場合でも、先出しセンドバック方式で保守機器を送ってもらい、機器を交換するだけで迅速に対応できる点も高く評価しました。また、故障の場合でもネットワークの通信が遮断される可能性が極めて低い点も、アプライアンス製品ならではの魅力でした。

### 【選定理由 4】 SKYSEA Client View との連携

SKYSEA Client Viewの機能の一部として利用できるのは大きなメリットでした。

### 【選定理由 5】 国産の製品で導入実績も豊富

ネットワーク機器やセキュリティ製品は海外製品を採用することも少なくありませんが、国産の製品は機器の信頼性やサポート面でも安心です。また、導入実績が豊富なことも、安心して導入できると判断したポイントとなりました。

## 導入効果 IntraGuardian2+の存在を意識せず に済むことも大きな導入メリット

— IntraGuardian2+の導入効果について教えてください。

システム管理担当者が常駐していない拠点でも、自動かつ確実に不正接続を検知・排除できる体制を、手間をかけずに実現できました。導入はとて容易で、拠点ごとで段階的に導入できたので、「こんなに簡単で大丈夫か」と思った程です。ネットワーク管理者としては、とてもありがたかったです。

また、運用に関しても、特別な知識や教育も不要で、属人化せずにSKYSEA Client Viewの一つの機能として、資産管理と連携して利用できるのも、普段はIntraGuardian2+の存在を意識しないで済むということも大きな導入メリットだと捉えています。

## 今後の展開とアドバイス 資産管理と合わせた利用・導入が効果的

— 拡張予定があれば教えてください。

今後、BYOD (Bring your own device) やテレワークなどに取り組んでいく中で、さまざまなデバイスが接続されるようになると思います。IntraGuardian2+の導入により不正接続対策は整ったと捉えており、今後この基盤を生かして、さらに働きやすさとセキュリティの両立を図っていきたくと考えています。

— 現在、不正接続対策の導入を検討している企業や団体へのアドバイスがあればお聞かせください。

不正接続対策は、一般企業はもちろんですが、不特定多数の人が出入りする機会の多い場所、たとえば官公庁や病院、学校などでは、欠かすことができないセキュリティ対策の一つになると思います。

IntraGuardian2+は、SKYSEA Client Viewがなくても、導入や運用に関するコスト負担が軽く、設定もシンプルなので、複数の拠点を展開しており、専任のネットワーク管理者などがいない企業や団体には向いていると思います。

また当社も同様ですが、不正接続だけでは会社の理解や予算を確保するのは難しいかもしれません。資産管理と合わせて予算を確保するというのは、賢い方法ではないかと思います。

— ネットチャートへの評価と期待をお聞かせください。

導入も設定につまずくようなところもなかったのも、ネットチャートのサポートの善し悪しを実感するところまでいたりしてましたが、アプライアンスのトラブル時は先出しセンドバック方式で機器の入れ替えが可能なので安心して使っています。

今後、資産管理だけでなく、ほかのセキュリティ対策と連動したソリューションの提供などにも期待しています。

お忙しい中、貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。

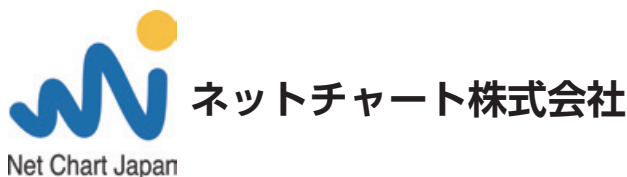
\* 取材日時 2016年12月

\* 記載の担当部署は、取材時の組織名です。

\* IntraGuardian は日本シー・イー・ディー株式会社の登録商標です。

\* SKYSEA Client View は Sky 株式会社の登録商標です。

総販売元



本社所在地 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-15-10  
YS 新横浜ビル 8階  
(購入/販売の御相談) ig2-sales@ncj.co.jp  
(技術的な御質問) ig2-info@ncj.co.jp  
(製品専用 URL) https://intraguardian.jp/